

スタンディングアーミーとは何か

それは世界に何をもたらすのか

世界から見た日本人が知らない米軍基地問題の常識

“なぜ沖縄から基地をなくせないのか？”イタリアの若手監督が世界中の米軍基地を旅するドキュメンタリー

誰も知らない

基地のこと

会場：沖縄国際大学

5-107 教室 (5号館 1階)

日時：2012年4月8日(日)

開場：13:00 開始：13:30 資料代：500円

エンリコ・パレンティ監督を迎えての上映とシンポジウム

ビチェンツァ、ディエゴ・ガルシア、そして沖縄の米軍基地をめぐる問題の諸相  
—『誰も知らない基地のこと』を通して—

The CH-53 helicopter from Futenma Air Base



今年沖縄は「復帰」40年をむかえるが、過重に負担させられた米軍基地から派生する人権侵害や環境破壊などの諸問題は40年前とあまり大きな変化が見られない。そして今年、迷走する普天間基地問題やオスプレイ配備の問題が象徴するように、沖縄にとっても大きな節目の年をむかえる。

ビチェンツァ（イタリア）、ディエゴ・ガルシア（インド洋・英領）、そして沖縄の米軍基地をめぐる諸問題取材し、ドキュメンタリー映画『誰も知らない基地のこと』を発表したイタリアの映画監督エンリコ・パレンティを招き、2004年のヘリ墜落事件の現場でもある沖縄国際大学において、各分野の識者と意見を交わし、来場者とともに問題意識の共有を試みるシンポジウムを開催する。

#### 【テーマおよびプログラム】

##### ○上映、シンポジウム

ビチェンツァ、ディエゴ・ガルシア、そして沖縄の米軍基地をめぐる問題の諸相  
—『誰も知らない基地のこと』を通して—

##### ○登壇者

エンリコ・パレンティ（映画『誰も知らない基地のこと』監督）  
西谷修（東京外国語大学 大学院総合国際学研究院教授）  
前泊博盛（沖縄国際大学教授 経済学部地域環境政策学科教授）  
赤嶺ゆかり（沖縄国際大学非常勤講師）  
仲里効（映像・文化批評家）

##### ○タイムテーブル

13:00 開場  
13:30 開会あいさつ  
13:35 『コンディションデルタ・オキナワ』上映（30分）  
14:05 登壇者紹介、監督からのメッセージ  
14:25 映画上映（75分）  
15:40 休憩（10分）  
15:50 シンポジウム（質疑応答含む）  
17:00 閉会

##### 「復帰」40年 米軍基地の問題を考える会

共同代表：桃原 一彦（沖縄国際大学准教授）、仲里 効（沖縄国際大学非常勤講師）  
西谷 修（東京外国語大学教授）、中山 智香子（東京外国語大学教授）

本件の問い合わせ先

桃原一彦（沖縄国際大学）

電話：098-893-3812（研究室直通）

メール：toubaru@okiu.ac.jp